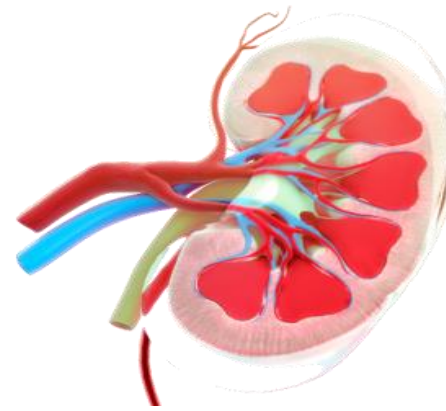


腎臓科



腎炎・ネフローゼ症候群など腎疾患の診断治療、腎不全の管理、透析療法（血液、腹膜、併用）、腎移植（適応、移植後管理）と腎臓病全般に外科系、内科系の医師が総合的にかつ連続的に対応しています。また各種の急性血液浄化療法にも積極的に取り組んでいます。

当科での特徴的な診療等を紹介します。

1. 腎生検・腎炎・ネフローゼ症候群の治療を積極的に行い腎生検症例は年間**30-40**症例。
2. 腎不全の管理・透析療法：年間**35-50**症例を導入し、維持透析症例は血液が**60-70**例、腹膜が**20-30**例（併用療法含む）です。また近隣クリニックより多数の紹介があります。ブラッドアクセス、**CAPD**カテーテル関連手術が年間**85-100**症例あり、標準的内シャント作成術、**CAPD**カテーテル留置術の手術手技が習得できます。
3. 急性血液浄化療法/アフェレーシス：持続血液濾過透析療法（救命救急科と協働）、神経疾患、自己免疫疾患、難治性の皮膚疾患、血管疾患、代謝疾患などに対する血漿交換、吸着療法、また潰瘍性大腸炎・関節リウマチに対する白血球除去療法などを積極的に行っています。
4. 腎移植の療法選択としての説明、適応判断、移植後の外来フォロー、また他施設での移植手術見学などを行っています。

